

課題図書実践 & 報告会 概要

目的	・ ・ ・自社におけるリアルケーススタディ
実施内容	一人一人が課題図書を読み、 、個人の行動変容や組織の成長を実現する取組み
課題図書	課題図書タイトル紹介

1

【概要説明】

「課題図書実践 & 報告会を実施します」

（研修の一環として実施する場合は、フォロー研修までの事後課題として案内）

「目的は、この3点です。皆さん、日常で本を読んで、色々な気づきや学びを得ていると思いますが、なかなか実務で反映させて、成果につなげるというところまではいけてないのではないのでしょうか。今回は、

。

また、この取り組みの特長として、同じ書籍を全員が読んで、その中から取り組みテーマとアクションを決めて実践し、報告し合います。そのメリットは二つあります。

一つは、

なるということです。

もう一つは、

確認することができます。
出てくるため、新たな気づきや

また、
学びにつながります。

課題図書は、こちらになります。しっかり読み込んで、報告会が実りある時間になるように、全力で取り組みをお願いします。

課題図書実践 & 報告会 実施フロー

1. 課題図書の読み込み及びPDCAシート記入

課題図書を読み、



2. 決定事項実践



3. 報告会準備



4. 報告会



2

【実施フロー説明】

「実施フローは非常にシンプルです」

1～4について説明

「注意点としては、

まず」

ないようにお願いし

書籍PDCAシート	所属	名前:
課題図書を読んで すぐに記入		
報告会前に記入		

【書籍PDCAシート説明】

「書籍PDCAシートの説明をします。上二つは課題図書を読んだ後に記入、下は報告会前に記入します。

を記入します。

を記入しましょう。

、記載しておくことがお勧めです」

※研修として実施する場合は、講師やファシリテーターも課題図書を読みこみ、特に共有したい点を事前にまとめ、当日、共有できるようにしておく

課題図書実践 & 報告会

■ 報告会の流れ

持ち時間: 1名30分

イメージ:

15~20分

10~15分

<実施の流れ>

STEP1:

STEP2:

STEP3:

STEP4:

STEP5:

を実施

4

【報告会の流れ共有】

「●カ月間、実践お疲れ様でした。課題図書を読んだだけでも色々気付きや学びがあったと思いますが、実際に取り組んでみて、色んなことを感じ、気付き、変化や結果を感じられたことと思います。

、覚えてますでしょうか。

- ・
- ・
- ・

リアルケーススタディもかねているので、同じグループメンバーの共有内容をしっかり受け止めて、実りある時間にしていただきたいと思います。」

⇒ 持ち時間、実施フロー説明

※研修のコンテンツとして実施し、2時間以上余裕がある場合は、各グループで一番いい変化や結果につながった人を代表者として決めてもらい、全体共有を実施するのも良い